

# フジイ 生産性向上が評価

## 「創意工夫功労者賞」受賞

フジイコーポレーション＝藤井大介社長、新潟県燕市小池285＝は、優れた創意工夫により職場の改善や技術の向上に貢献した功労者を表彰する「平成28年度 文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞」にDLP事業の山本孝敏副作業長と大関和彦さんの2名が受賞した。4月19日に新潟県庁で伝達式が行われ、高井盛雄副知事より両名に賞状が送られた。

「創意工夫功労者賞」は科学技術に携わる者の意欲の向上と科学技術水準の向上に寄与することを目的に、優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した功労者を表彰するもの。フジイコーポレーションのほか、新潟県内から6名が選ばれた。フジイコーポレーションの受賞業績名は「対向液圧プレスラインの自動化による生産性の改善」で、概要は「建設機械部品のプレス工程において既存設備の動力や排熱エネルギーの一部を利用することにより生産性を向上」が高く評価された。



賞状を授与される大関さん



代表で挨拶する山本副作業長

伝達式では、DLP事業山本孝敏副作業長と大関和彦さんらに高井盛雄副知事から、表彰状が伝達された。高井副知事は、今回の受賞者に対して「皆さんの品質向上や効率化、環境の向上など新たな課題に挑戦する姿勢には敬意を表する。今後とも第一線に立って新潟県の産業振興にご活躍願いたい。また、合わせて新しい人材の育成にも取り組んでもらいたい」とエールを贈った。

続いて、受賞者を代表して山本孝敏副作業長が挨拶に立ち、「今回の受賞は、ものづくりに携わ



高井副知事(中央)を囲んで記念撮影

る者として、大変名誉に感じている。この受賞をはじめ、大所高所から指導を頂いた県の関係諸機関のおかげでもあり、

心から感謝申し上げます。今後とも、一層の工夫を凝らし、メイドイン新潟の名に恥じないものづくりに励みたい」と決意を語った。

同社の「創意工夫功労者賞」の受賞は、平成22年、24年、26年、27年に続いて今回で5度目。他にも「平成25年度ダイバースィティ経営企業100選」で、2013年度「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞審査員会特別賞に選ばれるなど、受賞暦多数となっている。